

1

（配点：100点）

以下の文章を読んで設問に答えよ（なお、この問題は法学的知識を問うものではない）。

学生甲と乙は、大学で同じゼミに所属している。今日は2人で以下のような雑談を大学近くの喫茶店でしている。隣のテーブルにゼミの担当教授である丙がいるが、2人は気づいていない。

甲「ちょっと古い話だけど、2012年のロンドンオリンピックのことを覚えている？女子サッカーで日本代表が決勝トーナメント初戦での対戦相手や開催会場を考慮して、グループリーグ1位ではなく2位になることを目論んで、引き分け狙いを監督が指示し、そうなった話。」

乙「あー、そんなことあったね。懐かしいな。でも何でまたそんな話を？」

甲「ゼミ報告のためにネット見てたら、こんなエッセイを見つけてさ（乙にスマホを見せる）。」

乙「どれどれ…。なるほど、著者曰く、この引き分け狙いはフェア・プレイに反するし対戦相手に失礼だ、という訳か。しかも同じロンドンオリンピックの女子バドミントン・ペアで、同様に決勝トーナメント初戦を自分たちに有利な相手と戦えるよう意図的に敗退行為をした選手は批判を受けた上に失格処分を受けたのに比べ、サッカーはお咎めなしどころか問題視する声すらなかったのはおかしい、どちらも同じスポーツなのに、と。その後色々話が拡大しているね。」

甲「その後の話は置いといて、このエッセイの著者の考えを、君はどう思う？」

（参考：井上達夫「フェア・プレイとは何か―競技の法哲学」日本法哲学会『学会報第26号』2012年。<http://houtetsugaku.org/publication/News26.html>）

設問 この雑談に引き続いて甲と乙、さらに丙が以下の会話をしている。この会話の空欄（1）（2）（3）（4）を、それぞれ答案用紙2～5行で補充せよ。その際、各空欄には以下の条件を満たすことが必要である。

空欄（1）：あなたが乙になったと仮定した場合の、上記エッセイ要旨への意見とその理由。

空欄（2）：（1）に対し向けられると想像される、反論・疑問。

空欄（3）：（2）に対する、あなた（乙）の立場からの応答。

空欄（4）：丙の問いに対する、あなた（乙）の意見とその理由、予想される反論への応答。

乙「（1）

甲「（2）

乙「（3）

丙「ちょっといいかな？盗み聞きみたいで悪いと思ったけど、興味深い話だったから。今の話は、同じ用語が法によって異なる意味で使われることをどう捉えるか、という問題にも通じる。例えば『人の出生』に関しても、刑法では胎児が一部でも母体外に出た時点を指すけど、民法では胎児の全身が母体外に出た時点を指す。同様のことは『違法性』や『成人』という語にも言えるね。それぞれの法の趣旨の違いを踏まえている、とも言えるけど、同じ法体系内で矛盾した扱いを生じかねない。こうした問題につき、乙さんはどう考える？」

乙「（4）

以上